

令和8年度

資料Ⅰ

第Ⅰ回

地域包括支援センター運営協議会



令和8年6月25日（木）

高島市

第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）

共に暮らし 共に支える 長寿たかしま

地域包括ケアシステムの姿（イメージ）



高島市

第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）

基本目標

- 1 地域で支える生きがいづくり
- 2 暮らしを支える地域づくり
- 3 認知症の人と家族を支える体制づくり
- 4 安心安全を支える生活環境づくり
- 5 みんなで支える介護保険



高島市の人口および高齢化率



高齢化率
高島市 37.9%
滋賀県 27.4%
全国 29.4%^{R7.10}
(令和8年4月1日現在)

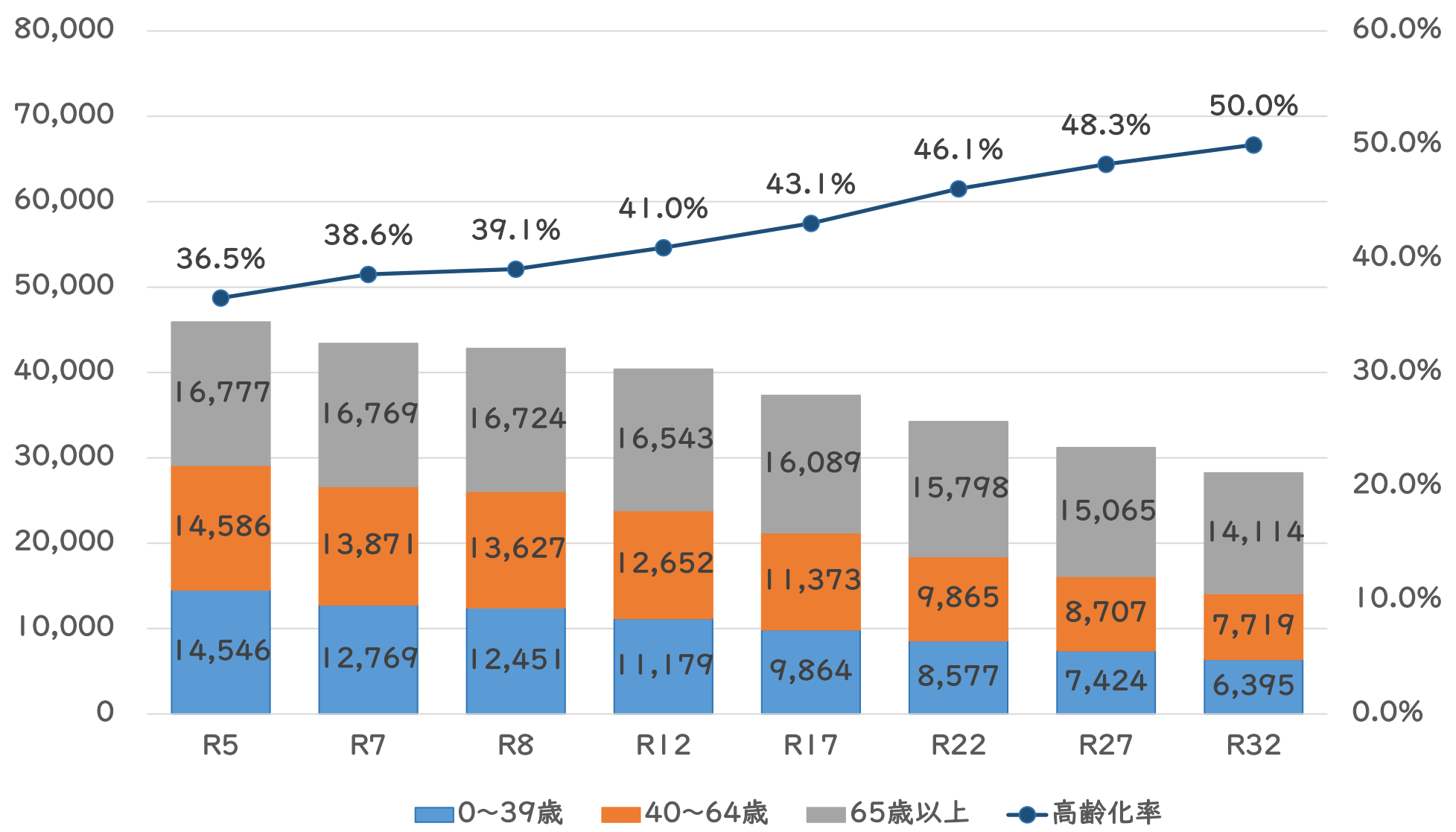
地域		高島市	マキノ	今津	新旭	安曇川	高島	朽木
人口		44,212	4,870	10,065	10,337	12,019	5,515	1,406
世帯数		20,954	2,406	4,872	4,743	5,701	2,521	711
1世帯あたりの人員数		2.11	2.02	2.07	2.18	2.11	2.19	1.98
65歳以上		16,751	2,198	3,892	3,344	4,407	2,216	694
75歳以上		9,939	1,378	2,315	1,958	2,568	1,296	424
高齢化率 (%)		37.9	45.1	38.7	32.3	36.7	40.2	49.4
後期高齢者率 (%)		22.5	28.3	23.0	18.9	21.4	23.5	30.2
要支援・ 要介護者数	第1号 被保険者	3,642	485	786	739	994	482	157
	第2号 被保険者	42	7	10	9	11	4	1
認定率		22.0	22.4	20.5	22.4	22.8	21.9	22.6

資料:住民基本台帳登録者数(令和8年4月1日現在)

*認定率は、65歳以上人口における第1号被保険者の要支援・要介護者数の割合

出典:介護保険課より

高島市の人口推計



【出典】実績値：住民基本台帳 推計値：社人研推計

地域包括支援センターの機能強化 センターの人員体制 (R8.4.1現在)

1つの地域包括支援センターが担当する区域における第1号被保険者(65歳以上人口)の数がおおむね3,000人以上6,000人未満ごとに置くべき専門職など、その職務に常勤する職員の員数は原則として次のとおりです。

- (1) 保健師その他これに準ずるもの1名
- (2) 社会福祉士その他これに準ずるもの1名
- (3) 主任介護支援専門員その他これに準ずるもの1名

基幹型



高島地域包括支援センター

- ◆ 所長 (保健師)
- ◆ 主任介護支援専門員 1名 (兼務)
- ◆ 保健師 5名
- ◆ 社会福祉士 3名
- ◆ ケアプランナー 1名 (非常勤)

委託型



令和2年10月開所 あいりんつむぎ地域包括支援センター

- ◆ 所長 1名 (今津病院事務長)
- ◆ 主任介護支援専門員 1名
- ◆ 保健師 1名
- ◆ 社会福祉士 1名
- ◆ ケアプランナー 2名 (非常勤1名)

委託型



令和6年4月開所 高島・安曇川地域包括支援センター

- ◆ 所長 1名 (社会福祉士)
- ◆ 主任介護支援専門員 2名 (非常勤1名)
- ◆ 保健師 1名 (非常勤)
- ◆ 看護師 2名 (非常勤1名)
- ◆ 社会福祉士 1名
- ◆ ケアプランナー 1名 (非常勤)

地域包括支援センターの設置状況

		高島市地域包括支援センター		あいりんつむぎ包括支援センター		高島・安曇川地域包括支援センター		高島市全体
受託法人				近江愛隣園		(特非) たかしま地域包括ケア研究会		
所在地		高島市役所高齢者支援課内		高島市今津町南新保87-1		高島市勝野3060番地3		
地域		新旭	朽木	マキノ	今津	安曇川	高島	
人口		10,337	1,406	4,870	10,065	12,019	5,515	44,212
世帯数		4,743	711	2,406	4,872	5,701	2,521	20,954
1世帯あたりの人員数		2.18	1.98	2.02	2.07	2.11	2.19	2.11
65歳以上		3,344	694	2,198	3,892	4,407	2,216	16,751
75歳以上		1,958	424	1,378	2,315	2,568	1,296	9,939
高齢化率（％）		32.3	49.4	45.1	38.7	36.7	40.2	37.9
後期高齢者率（％）		18.9	30.2	28.3	23.0	21.4	23.5	22.5
要支援・ 要介護者数	第1号 被保険者	739	157	485	786	994	482	3,642
	第2号 被保険者	9	1	7	10	11	4	42
認定率		22.4	22.6	22.4	20.5	22.8	21.9	22.0

資料:住民基本台帳登録者数(令和8年4月1日現在)

市民課、介護保険課より

令和7年度

地域包括支援センター事業実績報告



介護予防・日常生活総合事業



1) 介護予防・日常生活支援総合事業

①要支援者数

(人)

		要支援1	要支援2	計
第1号被保険者		759	473	1,232
(内訳)	65歳以上75歳未満	74	54	128
	75歳以上	685	419	1,104
第2号被保険者		8	4	12
総数		767	477	1,244

*第1号被保険者:65歳以上の被保険者

*第2号被保険者:40歳以上~65歳未満の被保険者

*数値は、令和8年3月末時点

*これ以降のシートの各年度実績もすべて3月末時点

2) 介護予防・生活支援サービス事業

指定事業者が提供する訪問型および通所型サービス（従前相当、サービスA・C）の利用者に介護予防支援（指定介護予防支援事業）と、同様のケアマネジメントを実施。

①介護予防ケアマネジメントA (件)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高島市地域包括支援センター	1,359	473	505
あいりんつむぎ地域包括支援センター	469	501	472
高島・安曇川地域包括支援センター	—	1,070	1,003

②介護予防ケアマネジメントC

住民主体によるサービス（訪問型サービスB）の利用者に、初回月において介護予防手帳を活用したケアマネジメントを実施。

・介護予防ケアマネジメントC数	
基幹型 高島市地域包括支援センター	実人数1人
委託型 あいりんつむぎ地域包括支援センター	実人数0人
高島・安曇川地域包括支援センター	実人数1人

2) 介護予防・生活支援サービス事業

③訪問型サービス

要支援認定者および事業対象者を対象に、ホームヘルパー等が訪問し、生活援助（食事の準備や掃除など）、身体介護（入浴や排せつの介助等）を実施。

(件)

第1号訪問事業	令和5年度	令和6年度	令和7年度
従前相当	797	887	1,026
サービスA	490	456	431
サービスB	1,030	723	696
合計	2,317	2,066	2,426

【訪問型 サービスB 利用内訳】

(人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
シルバー人材センター	504	432	325	165	143
元気な仲間	576	577	705	558	553
合計	1,080	1,009	1,030	723	696

【サービス内容】

＊従前相当：身体介護中心

＊サービスA：訪問介護事業所のヘルパーや一定の研修を受けた従事者が行う。家事援助中心

＊サービスB：シルバー人材センター・NPO法人で一定の研修を受けた従事者が行う家事援助中心

2) 介護予防・生活支援サービス事業

④通所型サービス

通所介護施設（デイサービスセンター）などで、生活機能を向上させるための体操や、筋力トレーニング、食事、入浴、レクリエーションなどを利用できるサービスを実施。
(件)

第1号通所事業		令和5年度	令和6年度	令和7年度
従前相当	件数	2,772	2,968	3,104
サービスA サービスC	件数	260	309	312
合計	件数	3,032	3,277	3,416

通所型サービスC(実人数0人)

【サービス内容】

＊従前相当：生活機能を維持向上させるためのリハビリ、入浴、食事、レクリエーションなど

＊サービスA：食事、体操、レクリエーション、趣味等を通じた高齢者の集いの場

＊サービスC：生活機能を向上させるための短期集中的トレーニング(3～6カ月)

3) 介護予防把握事業

①医療機関・健診未受診者訪問

医療機関・健診未受診の75歳以上の方への訪問を高島市地域包括支援センターで実施。
新旭・朽木地域以外で気になる高齢者は、その後の支援についてあいりんつむぎ地域包括支援センター、
高島・安曇川地域包括支援センターと連携。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高島市地域包括支援センター	21人	73人	47人

②未利用者訪問

要支援の認定はあるが、サービス未利用の方への訪問を実施。その後、必要な方は介護保険サービス等を導入。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高島市地域包括支援センター	66人	13人	25人
あいりんつむぎ地域包括支援センター	21人	23人	22人
高島・安曇川地域包括支援センター	—	34人	32人

4) 介護予防普及啓発事業

① 出前講座

地区や老人クラブ等からの依頼により介護予防についての啓発と地域活動の支援を実施。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数	56回	58回	73回
参加者数	727人	945人	1,220人



4) 介護予防普及啓発事業

②運動機能向上教室・生活機能向上教室

運動機能や生活動作の向上を目的に委託して実施している。 ＊（ ）内は前年度

	運動機能向上教室		生活機能向上教室
名称	運動教室さくら新旭 運動教室さくら高島	あいりん運動教室	生活教室さくら高島
委託先	医療法人かおり会	近江愛隣園 今津病院	医療法人かおり会
週当たりの定員	130人	30人	10人
参加者数	5,823人 (5,406人)	677人 (837人)	371人 (53人)



4) 介護予防普及啓発事業

③オンライン体操教室



期間	令和6年度	令和7年度
期間	令和7年1月～2月	令和7年12月～令和8年1月
内容	・事前説明会：ZOOMのダウンロードと操作説明 ・前後の体力測定（デジタル測定：Moffバンド） ・週2回、全12回のオンライン自宅トレーニング	
委託先	アトラス情報サービス株式会社、株式会社Moff	
参加者	30名 ・男性 2名、女性 28名 ・60代（4名）70代（21名） 80代（5名）	31名 ・男性 6名、女性 25名 ・60代（8名）70代（18名） 80代（5名）
参加者の声	「体操を楽しくしたら、自然に体力がついた。」「頭を使うことの必要性がわかった。」 「運動する機会が増えて、それに伴い体力が増えていくんだと思った。」「歩く速さも速くなったと思う。」	
結果	TUG（歩行能力）、片足立ち（バランス力）、CS-30（脚筋力）の3点について、いずれも初回よりよい結果になっており、体力維持以上の効果がみられた。	



5) 地域介護予防活動支援事業

①「高島あしたの体操」体験会

健康レベルに関わらず、歩いて行くことが出来る地域の集会所など介護予防に取り組めるよう「あしたの体操」体験会（3回）を開催し、継続して住民が主体的に活動できるようDVDの貸与を実施。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施団体数	1	1	2



②「高島あしたの体操」動画再生回数

高島あしたの体操：1,052回
ダイジェスト版：1,290回

足首を起こす運動（すねの筋肉の運動）

・効果：転倒予防（つまづき予防など）



➢ 椅子に浅く腰掛け、つま先を上げます
➢ 上げたまま5秒間止めて、降ろします
➢ 両足同時に、10回行います



あしたの体操YouTube
二次元コード



③「高島あしたの体操活動状況調査 調査期間：令和7年8月11日～8月29日

	継続	休止	終了	未回答	合計
団体数	34	9	2	8	53

5) 地域介護予防活動支援事業

④高島市通いの場支援事業補助金交付

高島市の「通いの場」の充実を図ることを目的として、地域住民によって自主運営される「通いの場」の運営費用に対する助成を行った。

【補助金交付団体】 令和7年度(合計22団体) ★は新規追加の4団体

団体名	人数	団体名	人数
高島あしたの体操サークル	18	高島配食活動ボランティアグループ	22
シニアヨガ教室	10	安曇川男の料理クラブ	10
高島市囲碁同好会	25	卓球同好会マーガレット	7
高島陶芸クラブ	14	山上会	15
男のまかないクラブ	10	パソコンクラブ亀楽会	13
歌声喫茶「うたごえ浜かぜ」	80	マキノG.G.和気あいあい会	10
どれみふぁプリンス	10	より処カフェ	13
いまづ自然観察クラブ	30	★創年のたまり場どろんこ	12
お休み処 まちあかり	30	★カラオケ熟艶会	16
寄り合い処 くつつき	8	★ウキウキワクワク高島絵手紙クラブ	14
体操教室スマイル	10	★高島あしたの体操の集い	15

5) 地域介護予防活動支援事業

⑤高島オリジナル介護予防体操の普及啓発

運動だけでなく、認知症予防体操も含めた体操動画を令和6年度に作成

作成：高島市リハビリ連絡協議会、第1層生活支援コーディネーター、
高島市高齢者支援課、健康推進課

内容：フレイル予防体操
認知症予防の体操など

YouTubeでの動画再生回数：433回
12団体にDVD貸与

好きな時間、好きな場所で体操ができるように



5) 地域介護予防活動支援事業

⑥フレイル予防サポーター養成講座

＜フレイル予防サポーターとは＞

通いの場に来られる方がいつまでも健康でいられるよう応援する、地域のボランティア

養成講座の目的

- ・スタッフの知識向上を図り、地域の通いの場をより効果的なものにする
- ・通いの場が継続するための工夫や考え方を知る
- ・通いの場のスタッフ同士が交流し、活動のヒントを得、モチベーションを上げる

修了：12団体、19名

回	テーマ	スタッフ
1	「高島市の高齢者の現状」 「フレイルとは その予防」 「みんなでできるフレイルチェックの方法」	理学療法士 保健師
2	「運動の効果について」 「高島あしたの体操など」 「サロンで取り組みやすい運動の実技」	理学療法士
3	「フレイル予防に大切な食事のポイント」 「お口こそ忘れず オーラルフレイル対策」	管理栄養士 歯科衛生士
4	「サポーターとしての心構え 地域での実践者に学ぼう」	サロンや介護予防活動の 実践者

参加者にも役割
を持って参加し
てもらいたい



社会参加の
大切さが
わかった

6) 地域リハビリテーション活動支援事業

①集団支援

「高島あしたの体操」等の介護予防活動を行っている団体に対してリハビリテーション専門職によるフォローアップ指導を実施。

＊専門職の介入が、地域の活動を継続するための後方支援になっています。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	10回	15回	20回	12回
参加人数	121人	164人	236人	147人

②個別支援

介護支援専門員、保健師等からの依頼により、リハビリテーション専門職が対象者の自宅や施設へ出向き指導や助言を実施。

【依頼内容】 6件：移動・移乗・運動指導・生活動作など（PT、OT派遣）

7) 一般介護予防評価事業

今後の事業の方向性や具体的な取り組みについて検討することを目的に、一般介護予防評価会議を実施した。

開催日	議題	出席者数
3月13日	①高島市の現状と課題について ②令和7年度介護予防事業の結果および評価 ③令和8年度の方向性と取り組みについて	19人
メンバー	医師、理学療法士、管理栄養士、生活支援コーディネーター（第1層、第2層）、市民代表、生活相談員、介護保険課、健康推進課、高齢者支援課、あいりつんつむぎ地域包括支援センター、高島・安曇川地域包括支援センター	

<結果>

- 介護状態となった方の傾向整理：
介護保険につながった方の原因疾患について改めて考察が必要。
- 対象者の把握：重症化を予防するためにも、未把握の高齢者を減らすよう努める。
- 教室や講座について、生活の中への落とし込み方法：
教室や出前講座を受けたことが、生活につながるようにフレイル予防サポーターの配置等出前講座の間を埋めていく必要がある。
- 事業内容の周知：介護予防事業について、事業の長所短所を整理し、関係者、関係機関も含め周知・啓発していく。



包括的支援事業

Ⅰ) 総合相談支援事業

相談については課題を整理し、地域のサービス・介護保険制度の利用支援及び関係機関との連携を図っている。また、緊急性の高いケースについては早急な対応に努め、身寄りのない認知症高齢者、複合多問題を抱える家族などについて、各機関との密な連携、情報共有を実施している。

①相談件数

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
高島市 地域包括支援センター	相談延べ件数	3,979	4,227	3,244
	相談実人数	945	833	769
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	相談延べ件数	822	1,260	2,064
	相談実人数	310	414	443
高島・安曇川 地域包括支援センター	相談延べ件数		2,539	3,985
	相談実人数		639	673
総計		4,801	8,026	9,293

※総合相談の件数が前年度の倍程度に増加している。

1) 総合相談支援事業

②相談内容の内訳（令和7年度）

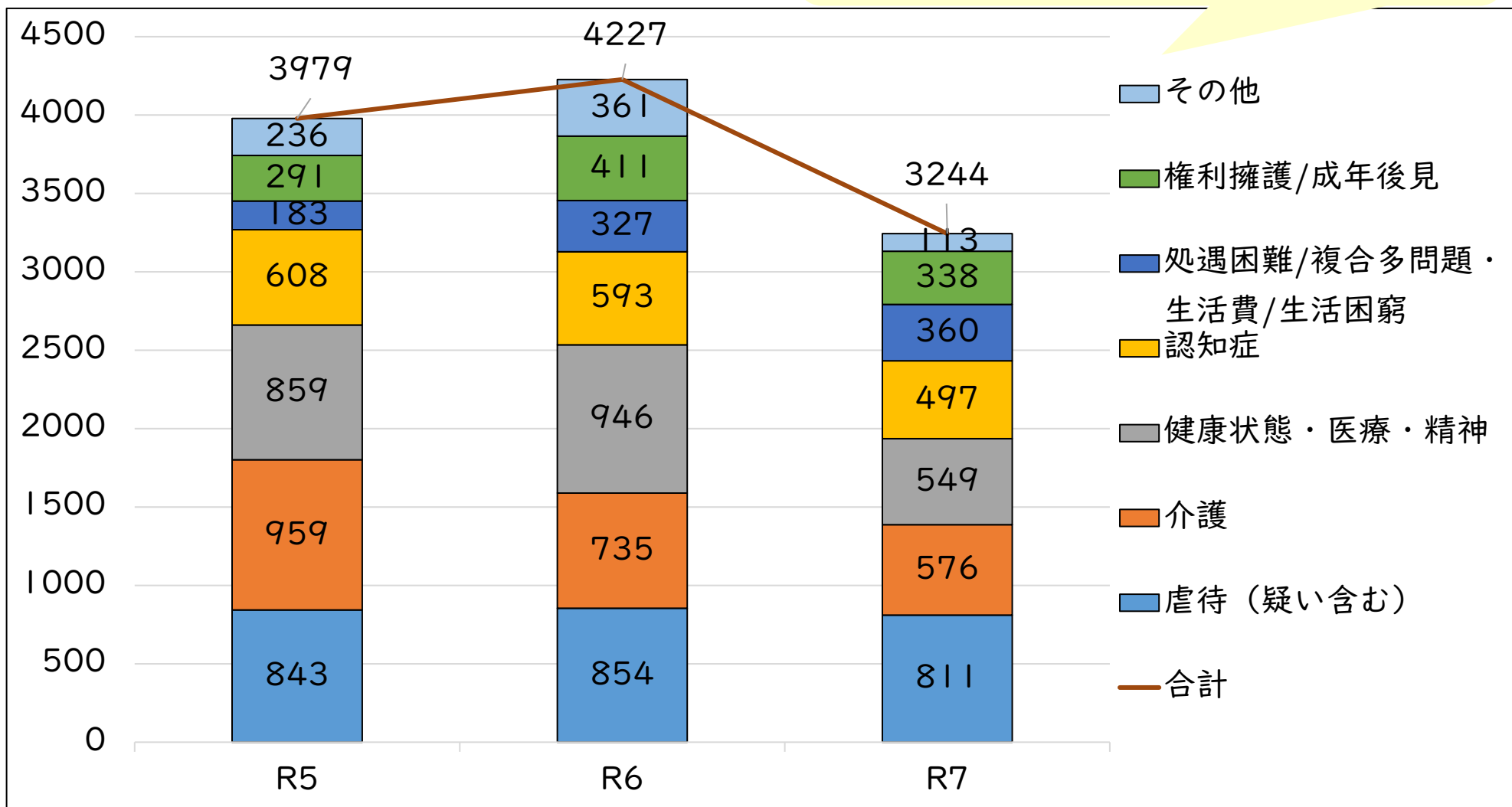
（件）

内容	高島市 地域包括支援センター	あいりんつむぎ 地域包括支援センター	高島・安曇川 地域包括支援センター
虐待（疑い含む）	811	231	217
介護	576	688	1,768
健康状態・医療・精神	549	554	872
認知症	497	283	452
処遇困難・複合多問題	360	203	463
成年後見・権利擁護	338	61	126
その他	113	44	87
合計	3,244	2,064	3,985

【高島市地域包括支援センター】

②相談内容の内訳（令和7年度）

相談内容の中で、虐待に関する相談が多くの割合を占めています。また、処遇困難、権利擁護等の割合も増加しています。



関係機関からの相談が増加しています。また、市民からの相談も増加しています。

【高島市地域包括支援センター】

③相談者

(件)

相談者	令和５年度	令和６年度	令和７年度
本人・家族・親族	1,859	1,866	1,270
市民	122	91	111
民生委員	106	60	53
*見守り協定事業所	18	6	2
介護支援専門員	465	480	53
サービス提供事業所	296	365	182
関係機関（警察・医療機関・後見人・ 包括支援センター）	926	776	998
行政関係各課	187	583	184

*見守り協定事業所：令和7年度末で高島市内の80事業所が高島市と見守り協定を結んでいる。

*高島市見守りネットワーク事業：「見守り協定事業所」が普段の仕事の中で、何か異変を感じたり気になることを市役所等の必要な機関に連絡し、連携して速やかに訪問などの対応ができるしくみを作っている。

【高島市地域包括支援センター】

④相談方法

(件)

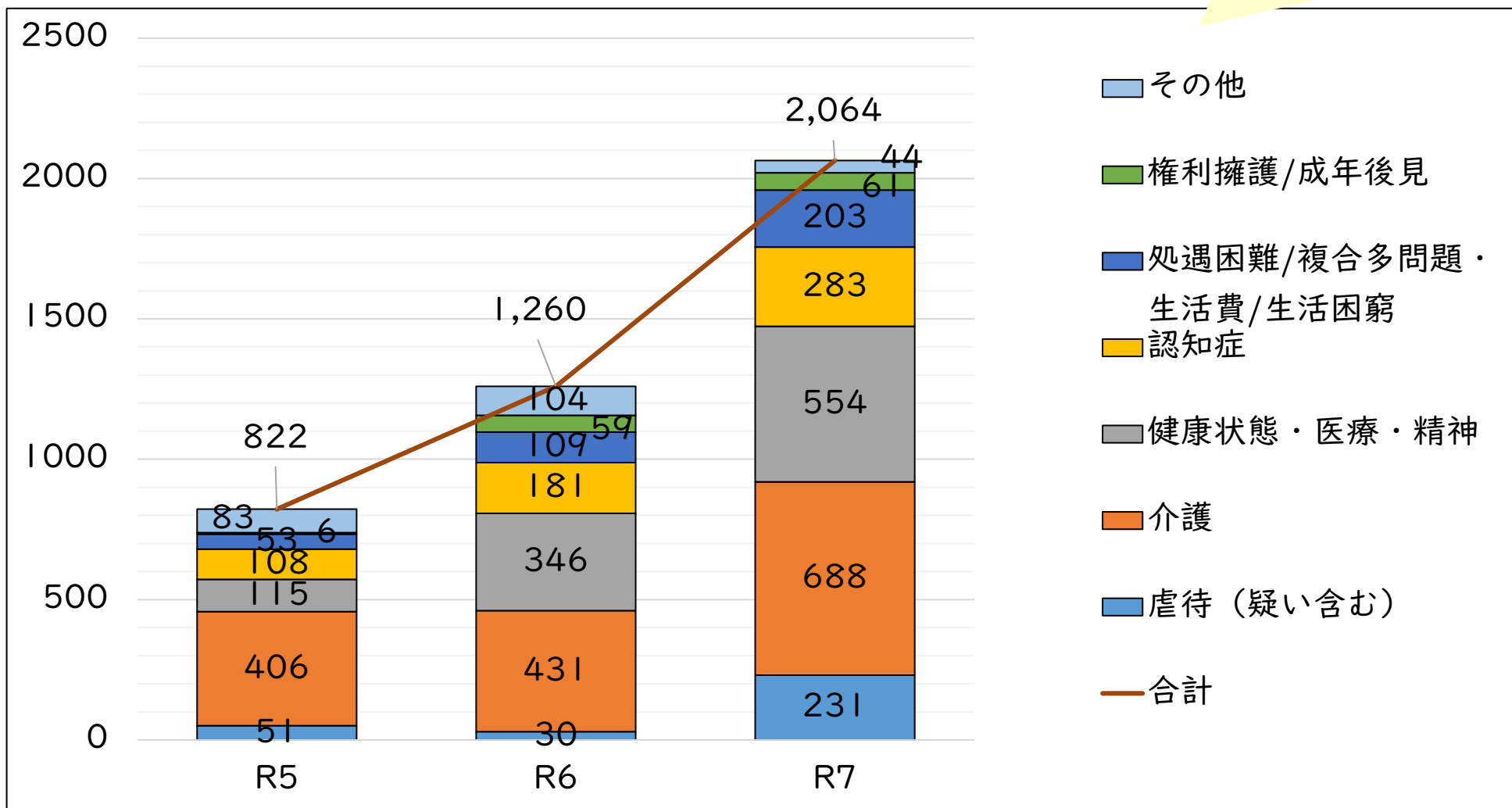
相談方法	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電話	2,553	2,669	2,107
窓口	551	619	501
訪問	810	823	561
メール	65	39	23
会議		77	52

電話での相談が多いが、窓口での相談や、訪問するケースも少なくない。

【あいりんつむぎ地域包括支援センター】

②相談内容の内訳（令和7年度）

相談内容のうち、虐待に関する相談が伸びています。また、処遇困難の内容も増加しています。



【あいりんつむぎ地域包括支援センター】

介護支援専門員、関係機関との連携が増加しています。

③相談者

(件)

相談者	令和5年度	令和6年度	令和7年度
本人・家族・親族	369	672	845
市民	15	47	105
民生委員	19	53	59
*見守り協定事業所	0	3	9
介護支援専門員	76	90	235
サービス提供事業所	16	16	79
関係機関（警察・医療機関・後見人・ 包括支援センター）	280	329	638
行政関係各課	47	50	94

*見守り協定事業所：令和7年度末で高島市内の80事業所が高島市と見守り協定を結んでいる。

*高島市見守りネットワーク事業：「見守り協定事業所」が普段の仕事の中で、何か異変を感じたり気になることを市役所等の必要な機関に連絡し、連携して速やかに訪問などの対応ができるしくみを作っている。

【あいりんつむぎ地域包括支援センター】

④相談方法

(件)

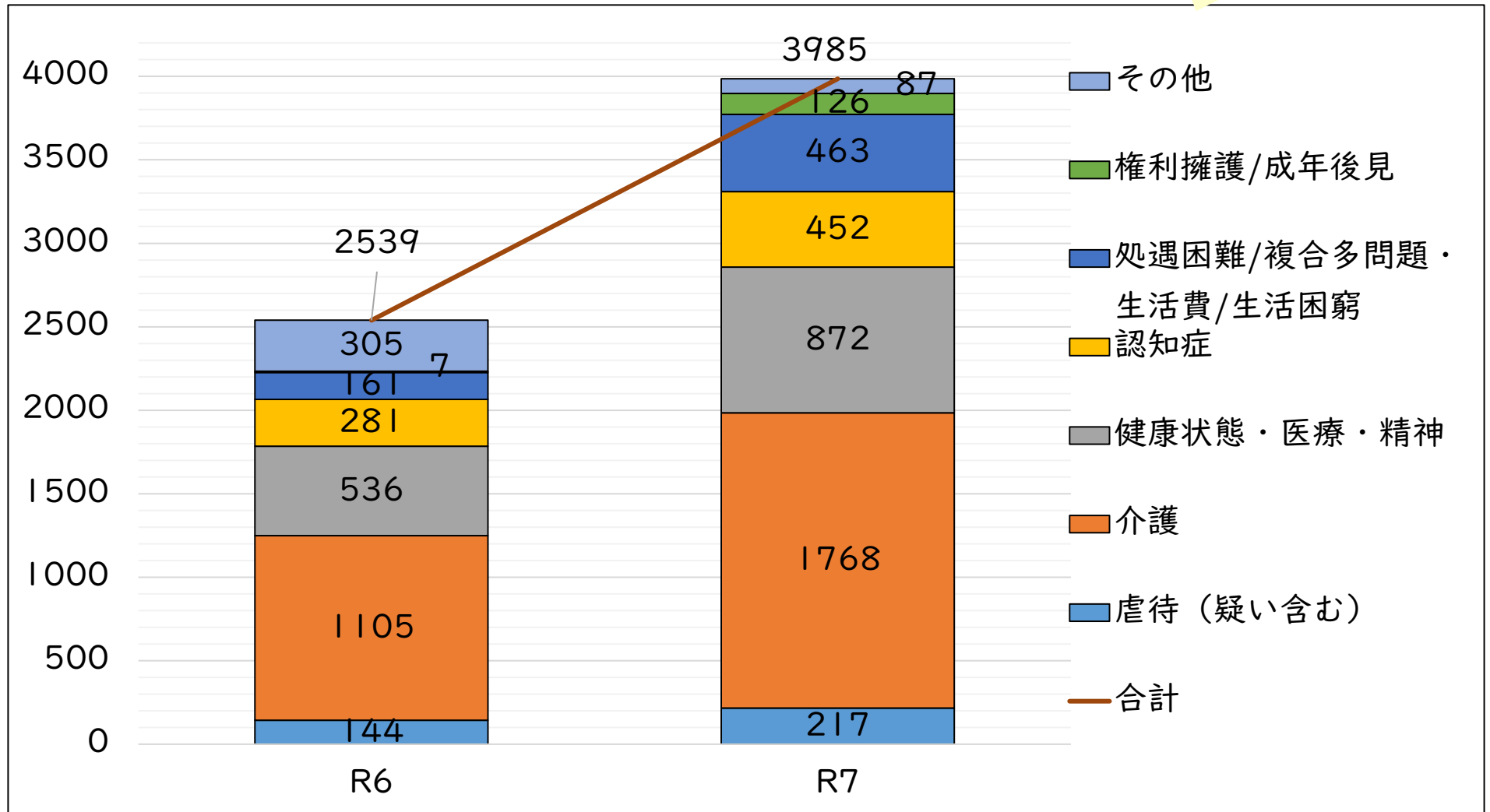
相談方法	令和５年度	令和６年度	令和７年度
電話	454	781	1,362
窓口	99	117	154
訪問	269	337	459
メール	0	1	2
会議		24	87

電話での相談が多いが、訪問、会議の開催についても増加。

介護に関する相談の割合が大きいです、処遇困難/複合多問題に関する相談が増加しています。

【高島・安曇川地域包括支援センター】

②相談内容の内訳（令和7年度）



全体的に相談件数は増えていますが、特に介護支援専門員やサービス提供事業所での相談件数が伸びています。

【高島・安曇川地域包括支援センター】

③相談

(件)

相談者	令和6年度	令和7年度
本人・家族・親族	1,215	1,446
市民	73	140
民生委員	104	144
*見守り協定事業所	2	1
介護支援専門員	250	571
サービス提供事業所	169	404
関係機関（警察・医療機関・後見人・ 包括支援センター）	653	1,027
行政関係各課	73	252

*見守り協定事業所：令和7年度末で高島市内の80事業所が高島市と見守り協定を結んでいる。

*高島市見守りネットワーク事業：「見守り協定事業所」が普段の仕事の中で、何か異変を感じたり気になることを市役所等の必要な機関に連絡し、連携して速やかに訪問などの対応ができるしくみを作っている。

【高島・安曇川地域包括支援センター】

④相談方法 (件)

相談方法	令和6年度	令和7年度
電話	1,706	2,963
窓口	188	194
訪問	579	736
メール	13	20
会議	53	72

電話での相談が多いが、訪問、会議の開催についても増加。

2) 権利擁護事業

高齢者虐待防止法に基づく対応状況

①養護者による高齢者虐待

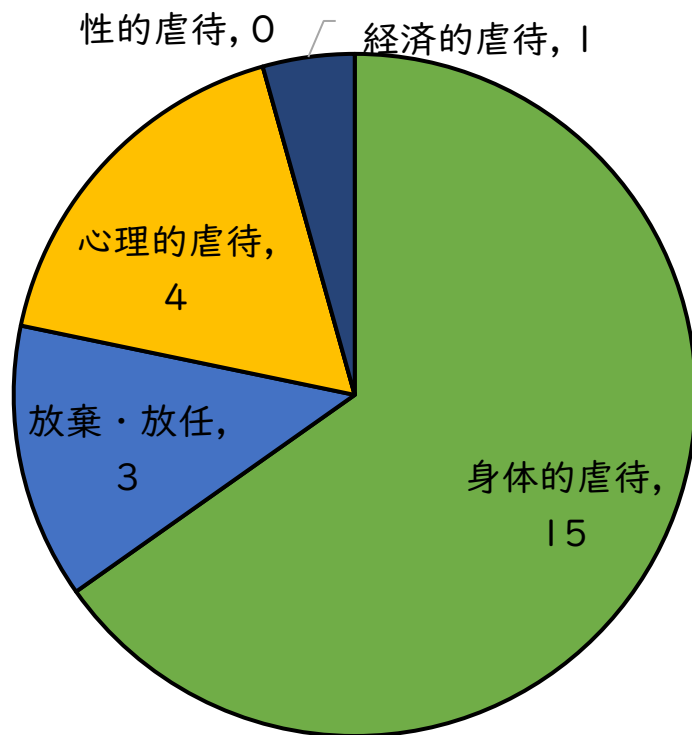
地域包括支援センターが高齢者虐待の通報を受理した場合は、緊急判断会議を開催し、虐待が疑われる高齢者に対して、速やかに状況確認を行い、介護支援専門員と共に介護サービスの調整や介護者の介護負担の軽減に努めている。

(件)

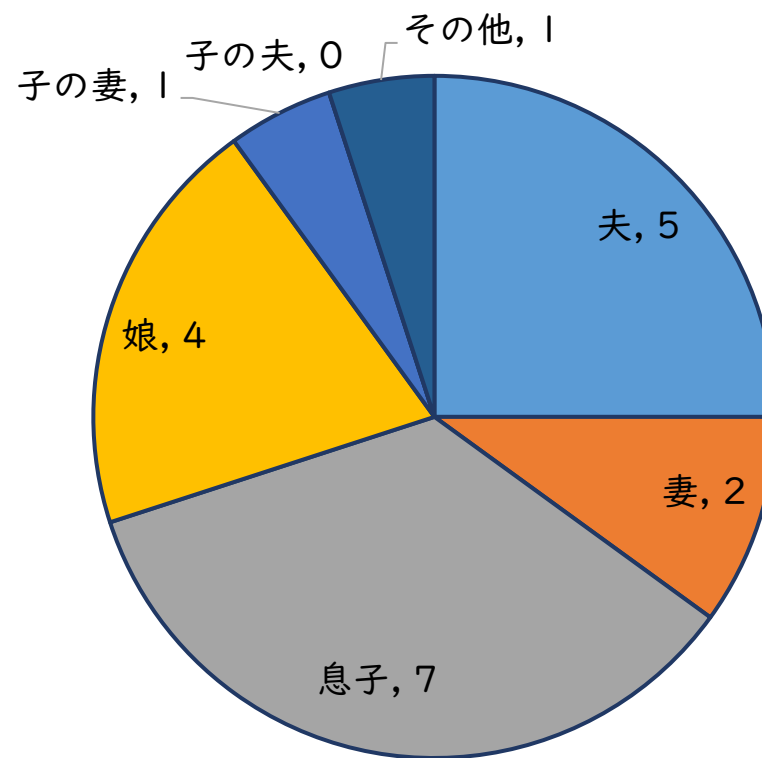
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
通報相談件数	36	29	40
虐待の事実あり	23	12	20
虐待の事実なし	13	15	18
事実確認継続中	0	2	2

②令和7年度「虐待の事実あり」とした20件の分析

【虐待種別の件数（重複あり）】



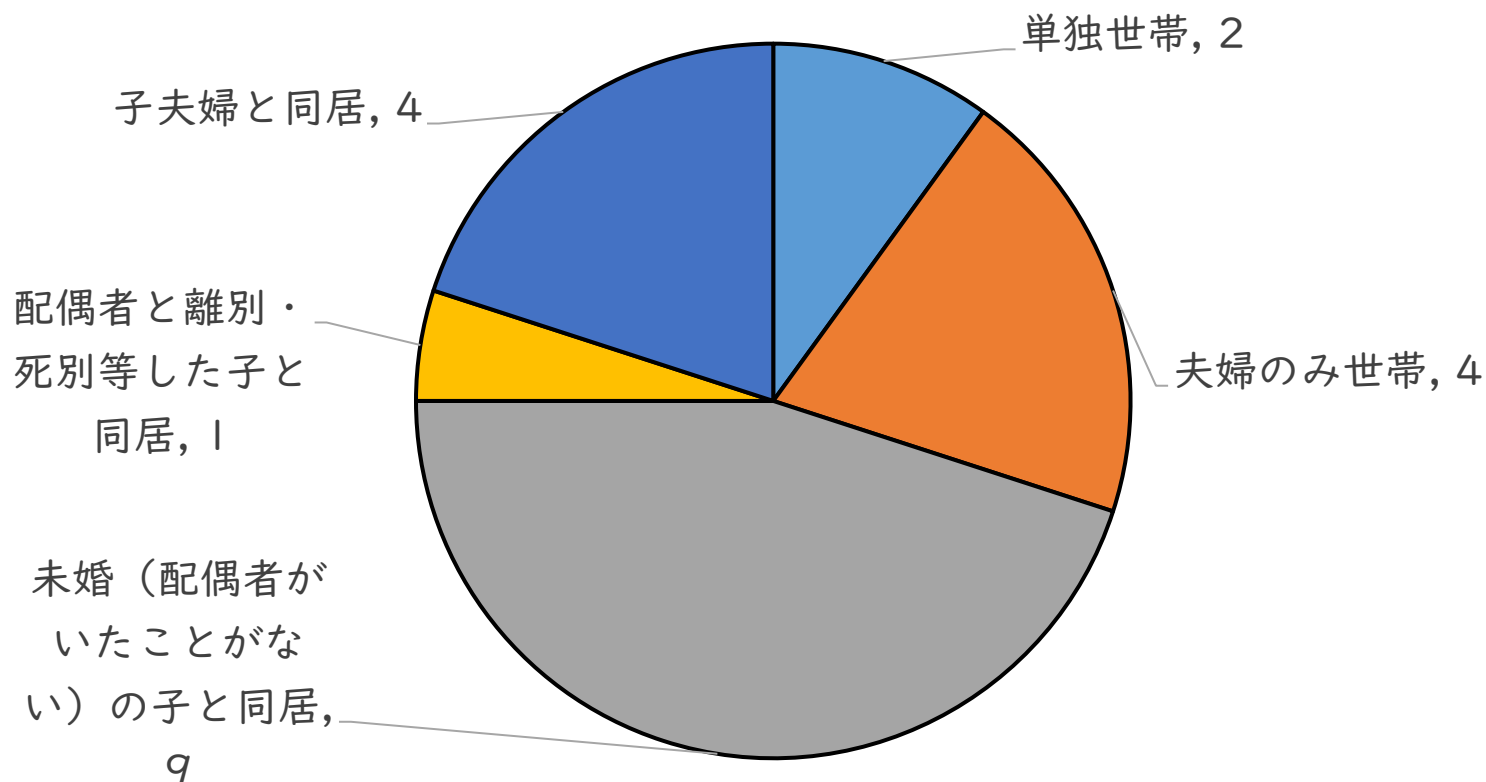
【虐待者の続き柄】



②令和7年度「虐待の事実あり」とした20件分析

【虐待ありと認定したケースの世帯構成】

虐待ありと認定したケースの世帯構成



③高齢者権利擁護・虐待防止研修会

対象 開催日	内容	参加 者数
一般市民 令和8年1月23日	「気づく・つなぐ・守る!～地域で守る高齢者の安心～」 講師:認定特定非営利活動法人 あさがお 理事長 尾崎 史氏	56人
介護保険事業所 令和8年3月11日	「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止の理解と 組織内での対応について」 講師:日本福祉大学・人間環境大学 非常勤講師 塚本 鋭裕氏	53人

④総合相談・スキルアップ研修会

複雑で複合的な問題を抱えるケースも多く、地域包括支援センター職員一人ひとりのスキルアップを目的に、年に2回の研修会を実施。

日時	内容	参加 者数
令和7年12月5日	「高齢者虐待や支援困難ケース等への対応力の強化 (虐待の早期解消に向けての事実確認方法)」 講師:びわこ福祉の杜 社会福祉士 中原 一隆氏	12人
令和8年1月16日	「高齢者の権利擁護について (成年後見制度等利用支援に対する注意点)」 講師:びわこ福祉の杜 社会福祉士 中原 一隆氏	11人

3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員の資質向上および地域や関係機関との連携により、高齢者やその家族への支援に努めている。

①会議への参画

	サービス担当者会議	見守り会議
高島市地域包括支援センター	7回(実6人)	11回(7地区)
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	13回(実11人)	19回(15地域)
高島・安曇川 地域包括支援センター	6回(実6人)	16回(9地域)

②地域密着型サービス事業所運営推進会議

	小規模多機能 事業所	グループホーム	介護老人福 祉施設	地域密着型通 所介護
高島市地域包括支援センター	2事業所 (11回)	3事業所 (16回)	2事業所 (10回)	3事業所 (4回)
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	3事業所 (15回)	2事業所 (12回)		1事業所 (1回)
高島・安曇川 地域包括支援センター	3事業所 (17回)	2事業所 (12回)		4事業所 (5回)

③研修会の企画・運営

○主任介護支援専門員研修会

高島市地域包括支援センターが企画・運営し、委託地域包括支援センター職員も参加。

開催日	内容	参加人数
令和8年2月5日	「アセスメントで目指すべきこと」 講師：京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会 会長 秋山 博之氏	21人
令和8年3月9日	「介護支援専門員のシャドーワークを考える」 講師：京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会 会長 秋山 博之氏	20人

④地域包括支援センター運営協議会

開催日	議題	参加人数
令和7年7月17日	①令和6年度事業の実施状況報告および決算報告（案）について ②令和7年度の方向性について	28人 (15人)
令和8年1月22日	①令和7年度事業の中間報告及び重点取り組みについて ②相談しやすい地域包括支援センターを目指して	22人 (10人)

4) 在宅医療・介護連携推進事業(高島市医師会委託事業)

高島市医師会に在宅医療連携コーディネーターを配置し、医療と介護などの連携による退院支援・在宅での療養支援・急変時の対応や在宅看取り支援体制の整備を進めている。

①職種間連携事業

開催日	事業内容	参加人数 (人)
令和7年5月30日	「医師と多職種との座談会」 ○グループに分かれて意見交換 参加職種：医師、介護支援専門員、保健師、看護師、相談員、 作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士	30

②在宅医療・介護連携従事者研修会

開催日	事業内容	参加人数 (人)
令和8年2月14日	多職種連携セミナー 「総合診療医の養成と在宅医療～竜王町で行っていること～」 講師：医療法人滋賀県家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック 理事長 雨森 正記氏	31

4) 在宅医療・介護連携推進事業(高島市医師会委託事業)

③市民啓発

事業名	事業内容	参加人数 (人)
在宅医療講演会	開催日:12月13日 テーマ:「落語で笑って学ぼう!笑ンディングノート」 講師:落語家 天神亭 きよみ氏(行政書士)	113
地域小規模講演会 「在宅療養出前講座」	テーマ:在宅医療・たかしまマイウェイノート 7地区 4団体に実施	219
たかしまマイウェイノート の普及・啓発	住民福祉懇談会 8回 127人 病院まつり(高島市民病院) 20人 高島市文化の支援事業「お就活!再春 人生ラブソディー」上映会33人 家族介護教室 16人	196

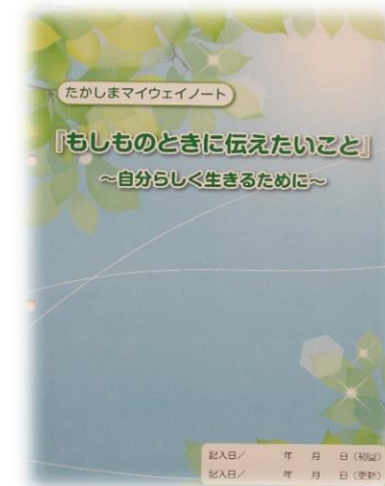
【高島版エンディングノート「たかしまマイウェイノート」の普及啓発を重点的に実施】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
たかしまマイウェイノート 配布数	422	501	1,178	1,220	3,525※

※合計は令和3年度配布時からの合計です。

【令和7年度 配布数内訳】

	回数	配布数
出前講座、講演会、イベント	20	816
関係機関	24	380
窓口等	6	24
計	50	1,220



*たかしまマイウェイノート設置場所

- ・高島市医師会 在宅療養支援センター（高島市民病院内）
- ・高島市役所 高齢者支援課 各支所
- ・あいりんつむぎ地域包括支援センター
- ・高島・安曇川地域包括支援センター

「チームたかしま」のホームページからダウンロードすることもできます。
⇒<http://www.t-takashima.net>

5) 生活支援体制整備事業

「生活支援コーディネーター」と「協議体会議」を設置し、地域住民の「互助」による助け合い活動を推進し、地域全体で高齢者の暮らしを支える体制作りを進めている。

委託先

第1層（高島市全体）：NPO法人コミュニティねっとわーく高島
コーディネーター1人



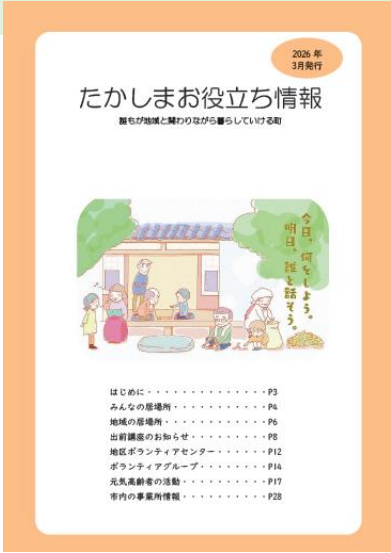
第2層（中学校区ごと）：高島市社会福祉協議会
コーディネーター6人



生活支援体制整備協議体会議

独居や高齢者世帯、認知症高齢者が増加する中、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、NPO、民間企業、ボランティア団体、シルバー人材センターと連携しながら、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けて協議体会議を開催した。

第1層（市域）	年2回
第2層（中学校圏域）	各年2回



毎年「たかしまお役立ち情報」を発行しています。



社会福祉協議会広報紙「しふくのふくし」に「生活支援コーディネーターだより」を掲載し、活動の紹介をしています。

5) 生活支援体制整備事業

生活支援ボランティア養成講座 委託先：NPO法人元気な仲間

高齢者の生活支援サービスの担い手となる住民ボランティアの養成講座を実施。

開催日	内容	講師	回数・参加人数
1回目： 8月21日（木） 2回目： 12月22日（月）	・高島市の高齢者福祉の現状とこれからのささえあい ・市内の取り組み事例紹介 ・高齢者に多い病気や事故、認知症 ・ボランティアの心得	くつき外出サポート隊 松陽台レンジャー おやすみ処 まちあかり NPO法人元気な仲間 高齢者支援課	1回目： 8人 2回目： 10人

ヘルパーの資格がなくてもできるB型であればお手伝いできる。それでヘルパーさんの仕事が軽減できるなら喜んで参加したい。



この春に移住してきました。自治会のない地区への移住のため、0からの出発。地域とどのようにかわれるのかを模索している状況。何かをしたい気持ちがより強くなりました。

現役を引退し、何か生きがいがあるかと思われている人がもっとボランティア活動をしてほしいです。

高島市社会福祉課

生活支援ボランティア

講座開催のお知らせ



高齢者が活躍するまち、さつま町の活躍の場をさらに広げていきたいと思います。このまちで、さつまの未来のために活動したい、おもしろい、楽しいことを、自分から始めようと思われている方へ、ぜひ参加してください。



令和 7 年 8 月 21 日 (木)

場所：高島市観光物産プラザ 視聴覚室・
 時間：10:00～15:00 受付 9:30～

※参加費・会場費ともに無料です。

講座の内容

- ★高齢者の活動参加の現状とこれからのさつまへ
- ★市の生活支援係長から
 「このまちで活躍する高齢者の居場所」について
 ・「高齢者が活躍する」の取り組み発表・
 ・高齢者の活躍や意見の交換について
- ★ボランティアの役割について
- ★終了後の意見について

お申し込みのお願い

特別参加費の負担なし、元金もつかない

お申し込み先：高島市社会福祉課

〒890-0001 高島市三ツ木 1-1-1

TEL 099-550-1311

FAX 099-550-1312

お申し込みのお願い

お申し込み先：高島市社会福祉課

〒890-0001 高島市三ツ木 1-1-1

TEL 099-550-1311

FAX 099-550-1312

6) 地域ケア会議推進事業

① 自立支援サポート会議

高齢者等が地域でその人らしい生活を継続することを支援するため、多職種が共同して個別ケースの支援を検討し、自立支援に向けたケアマネジメントの実践力を高める。また、そこから導かれた地域課題を整理し、地域における包括的な取り組みや地域のネットワークの構築に結び付けている。

【検討メンバー】

薬剤師・歯科衛生士・栄養士・理学療法士・作業療法士・看護師・主任介護支援専門員
生活支援コーディネーター等

	事例テーマ	参加人数
第1回	本人の思いが見えづらい認知症の方の支援	11人
第2回	自宅での生活を続けたいと言われるものの閉じこもりがちでQOLが低下している方への支援	9人
第3回	自宅での生活を継続したい認知症の方へのインフォーマルサービスを中心とした支援	11人
第4回	透析治療を受けながら自宅での生活を続けたい方への支援	10人
第5回	障がいのある娘の介護をしながら自身も認知症となった高齢者男性の支援	10人
第6回	認知症による記憶障害により食事を中心とした生活への不安が強い方への支援	10人
第7回	難病により予後が悪い中で自宅での生活を続けたい方を支える意思決定支援	10人

6) 地域ケア会議推進事業

②地域ケア個別会議

高齢者等が自分らしい生活を継続できるように、地域関係者や専門職などが協働して個別ケースの支援を検討。

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高島市地域包括支援センター	5回	7回	9回
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	7回(4回主催)	11回(3回主催)	19回(9回主催)
高島・安曇川 地域包括支援センター		26回(7回主催)	16回(7回主催)

自立支援サポート会議・地域ケア個別会議結果

- 多く取り上げられたテーマ：「独居、身寄りなし」「権利擁護」「生活困窮」「認知症」
- 課題
 - ・単独の問題ではなく、それぞれのテーマが複合的に絡み合って、「自宅での生活を続けたい」という高齢者のニーズを阻害する課題になっている。
 - ・本人の意思（支援拒否）や急な病状の悪化、介護サービスだけでは支えることに限界がある中で、地域の見守りに疲弊が起こっているという課題も見えてきた。

6) 地域ケア会議推進事業

③地域ケア推進会議

地域包括ケアシステムに関係する代表者が、高齢者の地域共通課題と解決策を共有し、相互の役割・機能を理解しながら地域に必要な社会資源の開発やネットワークの構築、施策化に向けて検討。

開催日	議題	出席者数
3月12日	・地域ケア個別会議・自立支援サポート会議等からみえた市の課題の共有 ・高齢者が安心して暮らすための持続可能な地域づくり、支援体制づくりに関する意見交換	19人
メンバー	高島市医師会長、湖西介護支援専門員連絡協議会会長、高島市民生委員児童委員協議会、チームオレンジ、在宅医療連携コーディネーター、高島市社会福祉協議会地域福祉課課長、たかしま市民協働交流センター事務局長、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、高島市権利擁護支援センター、市民代表、あいりんつむぎ地域包括支援センター、高島・安曇川地域包括支援センター、介護保険課	

<結果>

- ・医療と介護の情報共有が必要。
- ・相談窓口の名前は知っていても、そこに顔と名前が分かる職員がいないと相談しにくい。
- ・専門職には地域に顔を出してほしいし、地域の人も専門職に会える会議には顔を出してほしい。
- ・早めの相談、介護予防の意識を持つ。

7) 認知症初期集中支援推進事業

認知症が疑われる人やその家族に対し、専門職が「認知症初期集中支援チーム」として、包括的・集中的（概ね6カ月間）に受診や介護サービスなどの導入を支援している。

「認知症初期集中支援チーム」は高島市包括支援センターに設置し、事例に応じてあいりんつむぎ地域包括支援センター、高島・安曇川地域包括支援センターと連携している。

①認知症初期集中支援

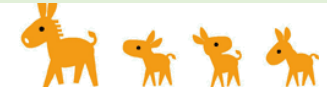
認知症の相談件数は年々増加していますが、その多くは総合相談支援において3職種（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員）により対応しており、令和7年度認知症初期集中支援チームが支援する対象ケースはなかった。

②認知症初期集中支援チーム員研修

参加者 1名（保健師）



8) 認知症地域支援・ケア向上事業



①認知症地域支援推進員研修会

初任者研修1名 現任研修1名

②チームオレンジ交流会

認知症の方やその家族が気軽に立ち寄れ安心して生活できるように活動する認知症カフェやチームオレンジの運営が継続できるよう支援することを目的として開催

開催日	内容	参加者数 (人)
12月12日	1) 「新しい認知症観と本人参画をすすめるチームオレンジ活動」 講師：株式会社LSH 中村 悟志氏 2) チームオレンジ活動報告 3) 交流会	15
メンバー	認知症カフェ：さくらカフェ チームオレンジ：はびねすカフェ、SUZAKI CAFÉ、浜分、藤江福祉推進委員会、 サロン☆わつなぎ キャラバンメイト、高島健康福祉事務所、 第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、 あいりんつむぎ地域包括支援センター、高島・安曇川地域包括支援センター	

<結果>

- ・情報交換等ができるので交流会は継続して行ってほしい。
- ・チームオレンジの周知や参加には、家族や地域、支援者の理解が必要。もっとチームオレンジについて知ってほしい。

8) 認知症地域支援・ケア向上事業



③認知症研修会

認知症になっても、本人やご家族が安心して暮らし続けることができるよう、高島市内の医療・保健・福祉・介護事業所に勤務する職員を対象に、高島健康福祉事務所と合同で研修会を開催した。

開催日	内容	参加者数 (人)
10月31日	講演1「認知症疾患について ～地域で暮らす認知症患者」 講師：医療法人かおり会本多医院 本多朋仁医師 講演2「わかっているのになぜうまくいかないの？～事例を通して振り返りましょう～」 講師：社会福祉連携法人リガーレ本部 人材・開発研究センター 認知症看護認定看護師 西村 優子氏 情報提供 「たかしまマイウェイノート～自分らしく生きるために～」	32

みんなの笑顔で支えあおう！

認知症相談ガイドブック

④認知症ケアパス活用推進

認知症ガイドブック(認知症ケアパス)の更新を行った。
変更点:表紙・背表紙に若年性認知症の方が撮った写真を採用
1ページ目に若年性認知症とその家族へのニーズ調査で聞き取った本人や家族の声を掲載した。

認知症経験者からのメッセージ

最初はずいぶんショックを受けた。
心細く思う。
自分はいろんな人と話す方が、良いと感じた。

作ったり、見たり、聞いたり、感激することが
好きだから、認知症になってもやっていきたい。
でも迷惑はかけたくないなあ。

伝えたい気持ちはあるのに、何を言いたかった
かを忘れてしまう。すごく気持ち悪い。
メモをとっておくのはおすすめ。



介護経験者からのメッセージ

妻が認知症になった
からと悲しんでいる
間がない。医師には
「治りません」
と言われて「ハッ」
とした。

今の本人の状態が長
く続くわけではないこ
とを知っていたから
乗り越えられた。

本人の次にショックな人
が家族と思う。
わめいてしまうほど…。
いろんなことをケアマネ
に相談しているので、ケ
アマネの存在には助けら
れている。



認知症経験者、介護経験者からのメッセージ	ページ
認知症とは	1 ページ
症状別の関わり方、できること	2 ページ
仲間を見つけられるところ	3～4 ページ
相談できること	5 ページ
相談できること	6 ページ
受診のタイミング・医療機関一覧	7～8 ページ
安心につながる地域の見守り	9～10 ページ
知って役立つ！さまざまなサービス	11～12 ページ
予防について	13～14 ページ

高島市

8) 認知症地域支援・ケア向上事業

⑤若年性認知症の方とその家族へのニーズ調査



目的：若年性認知症の方からの相談の際、若年性認知症の方の居場所についてどこにつながるというのかと迷うことがあったことをきっかけに、認知症になっても希望と尊厳を持って暮らせる高島市を目指して認知症の方や家族等のニーズを調査することを目的とする。

実施期間：令和7年10月～11月

実施対象者：若年性認知症と診断された方11名、そのご家族11名

聞き取り実施：6名（趣旨に同意していただけた方）

結果：

最初はずいぶん
ショックを受けた。
患者に対する支援を
もっとしてほしい。
心細く思う。

制度について
もっと窓口を一本化
してほしい。

作業所でもっと働きたかったが症状が進み、続けられなかった。

課題：

- ・ 個別ケースごとの支援者・家族が試行錯誤の中で支援に従事されている。
- ・ 相談窓口や居場所がすべてない訳ではないが、十分な周知ができず、本人や家族が不安を抱えている。
- ・ 就労支援

8) 認知症地域支援・ケア向上事業



⑥認知症支援ネットワーク会議

認知症支援に関する地域及び関係機関の取り組み状況と課題を明確化・共有化し、その課題解決に向けた具体的な取り組み計画や認知症の方とその家族に対する支援体制の構築について検討。

開催日	内容	参加者数 (人)
令和8年2月27日	1) 令和7年度認知症支援事業実施結果報告について 2) 若年性認知症の方の支援について	18
メンバー	認知症サポート医、社会福祉協議会、高島市民生委員児童委員協議会連合会、介護家族の会・キャラバン・メイト、チームオレンジ代表者、NPO元気な仲間（就労継続支援B型作業所Atte）、社会福祉法人虹の会、障がい者相談支援センターコンパス、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、高島健康福祉事務所、あいりんつむぎ地域包括支援センター、高島・安曇川地域包括支援センター、障がい福祉課	

<結果>

- ・認知症サポーター養成講座等での認知症・若年性認知症の理解促進・啓発
- ・認知症カフェ、チームオレンジ等の居場所づくりを既存団体等に働きかけながら増やしていく
- ・相談窓口、資源が分かるフローチャートの作成
- ・認知症についての医療体制等の問題を県、保健所、医師会等と検討していく

任意事業

1) 認知症サポーター等養成事業

① 認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識の普及啓発のため、認知症サポーター養成講座等を実施。
令和7年度は、市内小中学校、高校、また、高島市役所職員に対しても講座を開催した。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
開催回数	18回	16回	18回	470回
参加者数	566人	278人	361人	13,954人 *H17年から累積

【高島市職員研修】

午前・午後に分かれ、40人が受講

【介護サービス事業所・教室】

各地区、家族介護教室、一般市民、
いく歩等で受講



【小・中学校】

- ・マキノ西小学校6年生:6人
- ・マキノ東小学校6年生:13人
- ・マキノ南小学校6年生:15人
- ・安曇小学校6年生:46人
- ・高島中学校3年生:46人



1) 認知症サポーター等養成事業

②キャラバン・メイト支援

キャラバン・メイトは、定例の連絡会や認知症サポーター養成講座へ出動いただく他講演会などでも活躍している。

	回数・人数
定例会・学習会	5回(延べ47人)

③認知症啓発活動

	内容	人数
認知症月間啓発	・ 平和堂今津店、平和堂安曇川店での啓発ティッシュ配布 ・ 相談窓口、認知症の方へのかかわり方、家族会等の啓発 ・ 高齢者支援課窓口での掲示物設置 ・ 一般市民向け認知症サポーター養成講座実施	6人 (養成講座参加者)
認知症セミナー R8.3.3開催	太陽生命保険株式会社、高齢者支援課主催で実施 キャラバン・メイト学習会を兼ねて実施 講習「認知症になったらどうする予防医療の状況と課題」 講師：株式会社太陽生命少子高齢社会研究所 研究開発部長 今戸氏	45人

2) 認知症高齢者見守り事業

① 認知症高齢者見守り事業

「認知症」になっても、安心して出かけられる体制の整備を実施。また、行方不明になられたときは、高島警察署や関係機関と連絡を取り、迅速に対応できるように努めている。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事前登録者数	113人	86人	114人	【令和7年度】 行方不明相談対応件数:27件 警察との連携:9件 広域相談対応:0件 防災無線・メール配信:2件 防災無線を聞き、住民の方からの情報が多く寄せられ、発見につながるケースがあった。
うち新規登録者数	26人	24人	40人	
認知症高齢者位置探索システム(GPS)利用助成金交付	0件	1件	1件	
市民へのメール配信整備(登録者数)	4,531人	4,838人	5,100人	

3) 家族介護支援事業

①家族介護支援事業

介護する家族等を対象に、家族介護教室を年4回開催し、適切な介護知識・技術の学習や、介護に対する悩みや工夫など介護者同士の情報交換や精神的負担の軽減を図った。

委託先：NPO法人元気な仲間

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開催回数	4回	4回	4回
参加人数	43人	57人	43人

開催日	内容	参加者数
7月18日	「人生の最後をどう迎えるか」 在宅看取り、マイウェイノートの紹介	13人
9月17日	「住民同士の支え合い」 制度外の仕組みは何があるの？	11人
11月8日	「認知症のこと」 ～本人の思いと周りの対応～	13人
R8年1月14日	「免許返納」 高齢ドライバーの事故、家族の免許証の返納を考える	6人

4) 介護サービス相談員派遣事業

①事業所への訪問

介護保険サービスの資質向上を目的に、介護サービス相談員が施設・事業所へ訪問し、利用者との橋渡し役となり相談活動を行っている。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
介護サービス相談員数	11人	11人	11人
訪問事業所	36事業所	39事業所	22事業所
訪問延べ人数	411人	463人	265人

令和7年度から関係者が限定される入所施設、小規模多機能型居宅介護支援事業所等を中心に訪問。

②介護サービス相談員連絡会

活動内容の共有や、対応の相談などを定例会で共有している。

- ・開催回数 12回
- ・延べ参加者数 106人

③介護サービス相談員 意見交換会

活動の活性化を目的に、年に1回、介護保険サービス事業所と相談員の意見交換会を開催。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加者数	25人	17人	21人	20人

5) 成年後見制度利用支援事業

高齢化が進み、身寄りのない高齢者や認知症の高齢者などの支援が増えています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成年後見親族申し立て支援	2件	6件	2件
成年後見等市長申し立て	6件	3件	3件
審判請求助成	0件	0件	0件
後見人等報酬助成	7件	9件	9件
成年後見等市長申し立てによる 親族調査委託	3件 (滋賀県行政書士会)	1件 (滋賀県行政書士会)	0件 (滋賀県行政書士会)

＊成年後見制度市長申し立て件数の増加に伴い、申し立て支援を効率的かつ迅速におこなうため、親族調査および親族関係図・親族一覧表の作成を平成30年度から滋賀県行政書士会に委託している。

指定介護予防支援事業所運営事業

1) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

①契約事業所一覧（高島市内）

	設置者 (法人名)	居宅介護支援 事業所名	委託件数		
			高島市	あいりんつむぎ	高島・安曇川
1	社会福祉法人みのり会	新旭介護サービスセンター	10	5	8
2	社会福祉法人ゆたか会	こころいちばん居宅介護支援センター	0	1	0
3	特定非営利法人じゃがいもの家	じゃがいもの家	0	7	0
4	社会福祉法人 高島市社会福祉協議会	きらり今津北	2	6	0
5		きらり高島	0	0	10
6	医療法人かおり会	ケアプランさくら	46	0	12
7	特定非営利法人元気な仲間	ケアプラン元気な仲間	17	5	8
8	一般財団法人近江愛隣園	あいりん居宅介護支援事業所	0	1	1
9	社会福祉法人光養会	ふじの里ケアプランセンター	0	0	4
10	株式会社Logic	ケアプランセンターひより	9	4	7
11	合同会社SARARA	ナーシングケアプランさらら	0	0	0
合計			84	29	76

1) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

②契約事業所一覧(高島市外)

	設置者 (法人名)	居宅介護支援 事業所名	所在地	委託件数		
				高島市地域包括 支援センター	あいりんつむぎ 地域包括支援セン ター	高島・安曇川地域 包括支援センター
1	有限会社ケアサポートリブ	ケアサポートリブ	大津市	0	1	0
2	株式会社 Walk	Walkケアプラン センター	大津市	0	0	0
合計				0	1	0

※令和8年4月1日付けて上記事業所と介護予防支援業務委託契約を締結した。

2) 給付管理数の推移

①指定介護予防支援

介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス・訪問型サービス）以外のサービス（福祉用具のレンタル・訪問看護など）を利用している、または併用している方に実施。

		令和5年	令和6年	令和7年度
高島市地域包括 支援センター	直営	2,888	1,207	1,082
	委託	1,402	856	933
	合計	4,290	2,063	2,015
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	直営	1,457	1,400	1,661
	委託	897	332	261
	合計	2,354	1,732	1,922
高島・安曇川 地域包括支援センター	直営	—	1,731	2,115
	委託	—	724	401
	合計	—	2,455	2,516

2) 給付管理数の推移

②介護予防ケアマネジメント

介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス・訪問型サービス）のみを利用している方に対して実施。

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
高島市地域包括 支援センター	直営	1,142	358	405
	事業対象者	0	0	0
	委託	217	115	100
	合計	1,359	473	505
あいりんつむぎ地域 包括支援センター	直営	313	315	332
	事業対象者	8	0	0
	委託	143	173	140
	合計	464	488	472
高島・安曇川地域 包括支援センター	直営	—	823	715
	事業対象者	—	0	0
	委託	—	340	288
	合計	—	1,163	1,003

評価指標結果

評価分野	高島市	滋賀県	全国平均
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	75.0%	88.2%	88.3%
2. 組織・運営体制	95.8%	91.6%	90.5%
3. 総合相談支援事業	100.0%	92.0%	91.1%
4. 権利擁護事業	86.7%	88.2%	91.0%
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	83.3%	81.6%	78.2%
6. 地域ケア会議	96.3%	88.7%	88.2%
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	93.3%	88.5%	86.8%
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	100.0%	93.8%	91.5%

センター指標

— 高島市 — 滋賀県 — 全国平均

